

平成 28 年度 研究計画書

Research Plan FY2016

DATE : 1. June. 2016

講座名・職名 Course Title・Job Title	言語文化研究科 教授
氏名 Name	山元孝郎
専門分野 Academic Field	ドイツ文学

平成 28 年度 研究計画（ホームページで公開） Research Plan FY2016 (Post on Website)

主たる研究テーマ Principal Research Subject		ヤーコプ・レンツとゲオルク・ビューヒナーの戯曲作品			
研究計画（400 字～500 字で記入すること。） Research Plan （Approximately 100 Words） ゲオルク・ビューヒナーの戯曲作品『ヴォイツェク』はヤーコプ・レンツの二つの戯曲作品『家庭教師』、『軍人たち』から深い影響を受けている。とりわけ『軍人たち』における集団的な〈いじめ〉の場面は、一つの集合的アイデンティティを持った人間集団が、一人のヴァルネラブルな人間を標的としておこなう〈いじめ〉の構造を、舞台上で可視的に表現している。 またビューヒナーの小説作品『レンツ』は、ヤーコプ・レンツが牧師オーバーリーンのもとに滞在していた二週間あまりの事柄を、オーバーリーンの手記に基づいて作品化したものである。レンツは様々な自傷行為をおこなう、これまでは。レンツの精神分裂病の症状を詳細に散文作品にしたてたものと考えられていたが、筆者は、レンツがゲーテによりヴァイマルの宮廷から追放された事件、およびフリーデリーケ・ブリオーンとの恋愛から生じた罪の意識がレンツの心的外傷となっていると考える。ビューヒナーは、自らの罪の意識のゆえに他者の救済を願うレンツの姿を作品化したのである。					
共同研究可能な分野 Research Fields feasible for joint research *1	聖書学	深層心理学	歴史		
キーワード Keywords*2	聖書	トラウマ	ドイツ農民戦争	心的外傷	